

報道関係 各位

2017年4月7日

おべんとうがに・げ・だ・し・た？！

春の行楽にぴったりなしかけ付きえほん

老舗児童書出版社、株式会社ほるぷ出版(本社:新宿区西早稲田、代表取締役社長 吉川廣通)は、おべんとうから親子で食育について考えことのできる絵本『おべんとうばこ あけたらね』を4月30日に刊行致します。

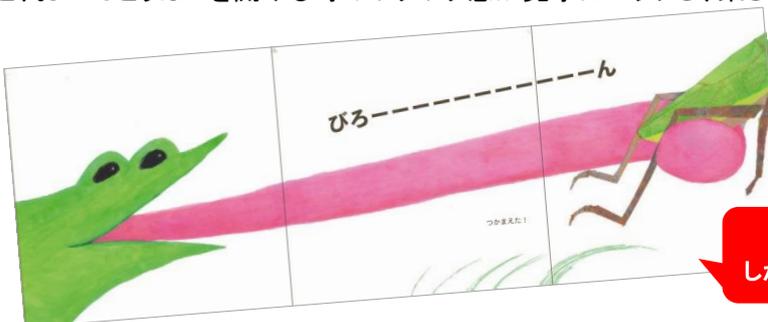
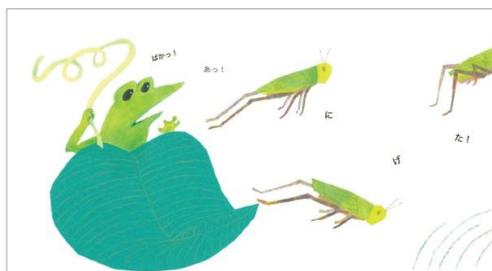
●動物のお弁当、ファンタジーではなくしっかり描く。
今日のおべんとう何が入っているのかな？—おべんとうを開ける瞬間は子どもも大人もワクワクします。この絵本に出てくるのは動物のおべんとうです。くまのおべんとうはさかな、うさぎのおべんとうには、にんじんが入っています。自然界で実際に動物が食べているものをきちんと描くことで、食べ物や生き物への関心を持つことができます。



おべんとう
パカッ！

●バツがとびだす、楽しいしかけ。

注目したい動物はかえるです。かえるがおべんとうを開けると、中から生きているバツが飛びだします。「生々しくもあるこのシーンを入れることには迷いがあった」と担当編集者は言います。でもリアルな自然界を伝え、おべんとうがにげるという意外性を楽しんでもらいたいと思い至りました。そこで考えたのが、片方のページを内側に折りたたむ片観音のしかけを入れることでした。しかけの驚きと、おべんとうばこを開ける時のワクワク感が見事にマッチし、楽しさが伝わる絵本になりました。



片観音の
しかけページ。

●人の手でつくるしかけページ。

しかけページを入れることは、通常の絵本制作の2倍の手間がかかります。なんども試作品をつくり、しかけページを1ミリ単位で調整するなど、製本会社と綿密な打ち合わせを繰り返しました。現場では、しかけの入ったページを人の手で1つ1つ機械に入れてゆく、手かがり製本という方法で仕上げました。



手かがり製本の様子
写真提供:株式会社ハッコー製本

1冊1冊、
手で入れて
いきます。



『おべんとうばこ あけたらね』
松田奈那子作 27ページ 196×196mm
定価:本体価格1,000円+税 (ほるぷ出版刊)

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社ほるぷ出版 広報大久保こずえ TEL:03-5291-6781 携帯電話:070-5373-5887

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-20-9 メールアドレス:okubo@holp-pub.co.jp FAX:03-5291-6782